

平成三十年度 国語問題

【一】 次の各文の傍線部の漢字として正しいものを一つ選び、答えをマークしなさい。

- ① 中学のカテイを修了する。 (ア、課程 イ、過程 ウ、過定 エ、課定)
② 勝利のカンセイが響いた。 (ア、歓声 イ、喚声 ウ、勸声 エ、観声)
③ キセイ道徳を批判する。 (ア、既製 イ、既成 ウ、規正 エ、規成)
④ カンコウを改める。 (ア、敢行 イ、緩行 ウ、慣行 エ、刊行)
⑤ うわさのシンギを正す。 (ア、真義 イ、信義 ウ、真偽 エ、審議)

【二】 次の各文の () の中から正しいものを一つ選び、答えをマークしなさい。

- ① 「二石二鳥」と同じ意味のものは (ア、一朝一夕 イ、一攫千金 ウ、一挙兩得 エ、一挙一動) である。
② 「自負」とは (ア、自分で負けること イ、気が弱いこと ウ、自分の考えを言いはること エ、自分の力を頼みほこること) である。
③ 「客観的」と結びつくものは (ア、信念 イ、目的 ウ、態度 エ、希望) である。
④ 「沿革」とは (ア、沿岸一帯 イ、なまりとかわ ウ、遠いところ エ、うつりかわり) である。
⑤ 「ネ(しめすへん)」が部首でない字は (ア、祈 イ、礼 ウ、祝 エ、視) である。

【三】 ①～⑤の四つの□に共通する漢字をア～オから選び、答えをマークしなさい。

- ① □行 □勇 野□ □風 (ア、向 イ、戦 ウ、変 エ、蛭 オ、先)
② □圧 □咳 □魂 重□ (ア、軽 イ、血 ウ、鎮 エ、変 オ、喉)
③ 傾□ 傍□ □講 □罪 (ア、向 イ、斜 ウ、重 エ、近 オ、聴)
④ 先□ 宗□ □理 □人 (ア、行 イ、教 ウ、哲 エ、向 オ、真)
⑤ 野□ 尊□ □屈 □近 (ア、蛭 イ、者 ウ、行 エ、葬 オ、卑)

【四】 次の各文を品詞分解するとどれが正しいか。正しいものを一つ選び、答えをマークしなさい。

① 「小さな花ほど美しい。」

ア、連体詞・名詞・名詞・形容詞
イ、連体詞・名詞・助詞・形容詞
ウ、形容詞・名詞・助詞・形容詞
エ、形容詞・名詞・助動詞・形容詞
オ、形容動詞・名詞・助詞・形容詞

② 「今夜はひどい雨になります。」

ア、名詞・名詞・助詞・名詞・名詞・助動詞・助動詞
イ、名詞・助詞・形容詞・名詞・助詞・動詞・助動詞
ウ、名詞・助詞・形容詞・形容動詞・助動詞・助動詞
エ、名詞・名詞・助詞・形容詞・形容動詞・動詞・助詞
オ、名詞・助動詞・名詞・形容動詞・動詞・助詞

③ 「どうなっているのか。」

ア、動詞・助詞・動詞・助詞
イ、副詞・動詞・動詞・助詞・助詞
ウ、名詞・動詞・助詞・動詞・助詞
エ、名詞・動詞・副詞・動詞・助詞・助詞
オ、副詞・動詞・助詞・動詞・助詞・助詞

④ 「広大な太平洋を船で航海する。」

ア、連体詞・名詞・助詞・名詞・助詞・名詞・動詞

イ、形容動詞・名詞・助詞・名詞・助詞・動詞

ウ、形容動詞・名詞・助詞・名詞・助詞・名詞・動詞

エ、名詞・助詞・名詞・助詞・形容動詞・動詞

オ、連体詞・名詞・助詞・形容動詞・名詞・動詞

⑤ 「正しく伝えられた話だ。」

ア、形容詞・動詞・助動詞・名詞・助詞

イ、副詞・動詞・助動詞・助動詞・形容動詞

ウ、副詞・動詞・助動詞・助詞・名詞・助動詞

エ、形容詞・動詞・助動詞・助詞・名詞・助動詞

オ、形容詞・動詞・助動詞・助動詞・名詞・助動詞

【五】 次の①～⑤の各問にそれぞれ答えなさい。

① 枕草子『にくきもの』の冒頭文、「憎きもの。急ぐことあるをりに来て長言するまらうど。」の傍線部「まらうど（まらうと）」の意味として正しいものを一つ選び、答えをマークしなさい。

ア、まれに話す人、つまり親しくない人。 イ、まれに来る人、つまり客。

ウ、いつも来る人、つまり親戚。 エ、まれに働く人、つまりひまな人。

② 徒然草の冒頭文「つれづれなるままに、ひぐらしすずりにむかひて」の「つれづれなり（つれづれ）」の意味として正しいものを一つ選び、答えをマークしなさい。

ア、することがなく退屈なこと イ、時間に追われ忙しいこと

ウ、楽しそうな日々のこと エ、とても懐かしく思うこと

③ 枕草子『うつくしきもの』の冒頭文、「うつくしきもの。瓜にかきたるちこの顔」の傍線部「うつくしきもの」の意味として正しいものを一つ選び、答えをマークしなさい。

ア、美しいもの イ、すばらしいもの ウ、かわいらしいもの エ、立派なもの

④ 次の熟語の中で、訓読をするときに「レ点」を用いないで読むのはどれですか、次の中から一つ選び、答えをマークしなさい。

ア、不振 イ、寒風 ウ、未知数 エ、希望者

⑤ 孔子の『論語』に「子曰く、吾十有五にして学に志す。三十にして立つ。・・・」とあるが、傍線部「立つ」の意味として正しいものを一つ選び、答えをマークしなさい。

ア、起きあがる イ、基礎から確立する ウ、出発する エ、立身出世する

【六】 次の外来語の意味を一つ選び、答えをマークしなさい。

① カモフラージュ (ア、非常手段 イ、宗教団体 ウ、偽装工作 エ、個人主義)

② レトリック (ア、修飾 イ、修辭 ウ、原因 エ、発展)

③ コンセプト (ア、話し方 イ、聞き方 ウ、考え方 エ、生き方)

④ コンセンサス (ア、意見 イ、方法 ウ、合意 エ、関係)

⑤ リテラシー (ア、決断力 イ、分析力 ウ、破壊力 エ、活用力)

【七】 次の①～⑤の各問にそれぞれ答えなさい。

① 江戸時代に活躍した有名な俳人は松尾芭蕉と小林一茶ともう一人は誰ですか。次の中から正しいものを一つ選び、答えをマークしなさい。

ア、与謝蕪村 イ、歌川広重 ウ、近松門左衛門 エ、十返舎一九

② 『源氏物語』は何帖からできていますか。次の中から正しいものを一つ選び、答えをマークしなさい。

ア、四十四帖 イ、四十八帖 ウ、五十四帖 エ、五十八帖

③ 「現存する最も古い作り物語は『(あ)』であり、歌物語は『(い)』である。歌物語はその後『(う)』へと続く。」右文に当てはまる作品名の組み合わせで正しいものを一つ選び、答えをマークしなさい。

ア、(あ) 竹取物語 (い) 宇津保物語 (う) 落窪物語

イ、(あ) 伊勢物語 (い) 竹取物語 (う) 大和物語

ウ、(あ) 竹取物語 (い) 伊勢物語 (う) 大和物語

エ、(あ) 伊勢物語 (い) 竹取物語 (う) 落窪物語

④ 次の中から森鴎外の小説でないものを一つ選び、答えをマークしなさい。

ア、舞姫 イ、山椒大夫 ウ、青年 エ、刺青

⑤ 川端康成以外に、ノーベル文学賞を受けた日本人作家は誰ですか。次の中から正しいものを一つ選び、答えをマークしなさい。

ア、夏目漱石 イ、三島由紀夫 ウ、大江健三郎 エ、カズオイシグロ

【八】 次の文章を読んで後の問に答えなさい。

現代aの若い人たちにとって①感ずることの一つは、「価値観bの多様化」などということが合い言葉のようにいわれる反面、生きることについては、ほとんど画一的なと思われるような考え方に動かされている面cのあることです。いわゆる「マイホーム主義」とか、マスコミ的「情報」に対する反応とかにも②それが感じられます。社会的に生活の画一化が押しつけられていることによるでしょうが、とくに青少年dの場合は、生活環境の画一化が、生きることの意味の多様さと深さの発見を困難にしているように思えます。同じような環境におかれた生活の中で考え方に行き詰まっても、違った生活体験にふれることによって、もっと別の考え方ができることに気づいたり、人生の広く深い意味と人間の可能性を教えられるような機会が、あまり乏しいように思われます。

読書することによって、人の生き方に学ぶというのも、自分の生き方を見つける導きにするためで、自分の生き方はもともと自分で生きてみることのなかからつかみとっていくものです。(Ⅰ)よく、人の書いた「人生論」を③葉でものむように読んで満足したり、答えでも見つけるような(A)的な態度で読む人がいますが、④そういうものではありません。(Ⅱ)

自分の能力や可能性というものも、自分から進んでさまざまな経験を重ねていくなかで、おのずから自覚されてくることのほうが普通なのではないでしょうか。(Ⅲ)一つのことを長く続けることも大切ですし、また人と物との⑤偶然のふれあいから道が開けることも人生にはあります。いずれにしても、自分自身で生きること、(B)的にさまざまなものごとに挑んでいくことが、いちばん大切なことではないでしょうか。(Ⅳ)

人間の活動というものは、つねに社会の中で営まれ、それぞれが社会的な価値をになっているものです。自分の可能性や生き方というものは、閉鎖的な⑥自己の内部にできあがった特定の形として見つかるものではありません。高校生の中には、自分が何に向いている、何ができるのかはつきりわかるまで進路がきめられない、というふうに考える人がよくあります。さしあたり自分の直面している仕事や生活に正面からとりくむこと、また社会的なさまざまな活動分野についての認識を深めていくことが大切です。

(田代三良「高校生になったら」)

問一、――傍線部 a ～ d の「の」の中で、一つだけ意味・用法で他と違っているものがあります。それを選び、答えをマークしなさい。

- ア、(a) イ、(b) ウ、(c) エ、(d)

問二、傍線部①「感ずる」と「感じる」について文法的に説明した文章で正しいものを、次の中から記号で選び、答えをマークしなさい。

- ア、「感ずる」と「感じる」はどちらも上一段活用の動詞であり、活用形は連体形と終止形の違いである
イ、「感ずる」は上一段活用の動詞の連体形であり、「感じる」はサ行変格活用の動詞の連体形である
ウ、「感ずる」と「感じる」はどちらもサ行変格活用の動詞であり、活用形は連体形と終上形の違いである
エ、「感ずる」はサ行変格活用の動詞の連体形であり、「感じる」は上一段活用の動詞の連体形である

問三、傍線部②「それが感じられます」とはどういうことか、その説明として最も適当なものを次の中から選び、答えをマークしなさい。

- ア、現代の若者たちは「価値観の多様化」を合い言葉のようにして生活をしていることが感じられるということ
イ、生きるということについては画一的なと思われるような考え方に動かされている面があるということ
ウ、若者は「マイホーム主義」とかマスコミ的「情報」に対して敏感に反応してしまう面があるということ
エ、現代は若い人たちに限らず、生き方に対して「価値観の多様化」を持って生活をしているということ

問四、文中には次の一文が抜けています。文中の (I) ～ (IV) の中からこの一文が入る箇所として最も適当なものを次の中から選び、答えをマークしなさい。

脱落文「勉強の問題ももちろんその中に入ります。」

- ア、(I) イ、(II) ウ、(III) エ、(IV)

問五、傍線部③「薬でものむように読んで」とはどういうことか、その説明として最も適当なものを次の中から選び、答えをマークしなさい。

- ア、薬によって病気や怪我が治るのと同じように、自分の悩みを徹底的に解消しようとして読んでいるということ
イ、病気や怪我と同じように多少苦痛をともなっても、自分の可能性を知ろうとして読んでいるということ
ウ、薬をのんで健康な体になるのと同じように、健全な精神を養い自分の生き方を補おうとして読むということ
エ、薬をのみ病気や怪我が治るのと同じように、自分の生き方を手軽につかみとろうとして読んでいるということ

問六、文中の空欄 (A) 的・(B) 的のそれぞれにあてはまる語句の組み合わせとして最も適当なものを次の中から選び、答えをマークしなさい。

- ア、(A) 「内省」・B 「積極」
イ、(A) 「短絡」・B 「論理」
ウ、(A) 「短絡」・B 「積極」
エ、(A) 「積極」・B 「短絡」

問七、傍線部④「そういうものでもありません」とは何がそういうものではないのか。その説明として最も適当なものを次の中から選び、答えをマークしなさい。

- ア、人生の広く深い意味と人間の可能性を読書から学ぶということ
イ、他人の「人生論」などの書物を読んで満足をしてしまうこと
ウ、読書することによって、人の生き方に学ぶということ
エ、もともと人生は自分で生きてつかみ取っていくということ

問八、傍線部⑤「偶然」と同じ組み立て方の熟語を次の中から選び、答えをマークしなさい。

ア、諸君 イ、御飯 ウ、美的 エ、暗示

問九、傍線部⑥「自己の内部にできあがった特定の形」を言いかえたものとして最も適当なものを次の中から選び、答えをマークしなさい。

ア、豊かな経験を積んで、自己の内部に自覚されるもの

イ、努力をすることによって、将来自己の内部につくられるもの

ウ、自己の内部に、勉強やスポーツで得ようとするもの

エ、自己の内部に、ある種の力として完成しているもの

問十、この文章の要旨として最も適当なものを次の中から選び、答えをマークしなさい。

ア、現代の青少年は、画一的な環境の中で多様な価値を見失ってしまっている

イ、読書することによって、自分の生き方を見つけようとするのは急すぎる

ウ、人間は自分自身で生き、さまざまな物事に対して行動的に立ち向かうべきである

エ、人間は直面している個人的な悩みを解決するより、社会に対する知識を深めるべきである